“夢 はばたけ未来へ！”　～校長室から 11.20～

長蛇の列が・・・！

１１月１６日（土）に本校の農場で，シクラメンの販売を行いました。精魂込めて育てたシクラメンや葉ボタン等の花と野菜を格安で，地域の方々に販売をしたのですが，販売時間前から長蛇の列ができ，アグリビジネス系列の生徒や先生方は，うれしい悲鳴で，接客や会計に大変でした。あまりにも長蛇の列になってしまったので，会計場所をもう一つ増やし，二カ所での対応をしなければいけない盛況ぶりでした。一人で何十鉢も買っていく方もいて，話を聞くと「迫桜高校のシクラメンは，とてもきれいで安いので買いに来ました。」と，喜んで話していました。また，生徒たちも一生懸命に，花の説明をしたり，会計や袋詰めをしながら，「ありがとうございます。」と，元気よく笑顔で挨拶をしていて，お客様も大変喜んでいました。さらには，生徒たちが一生懸命育てた野菜を使っての“豚汁”も無料で提供していて，多くのお客様が「美味しいね。」と言いながら，お代わりをしていました。








【当日は天気も良く，地域の方々も“迫桜高校”の頑張りを喜んでいました。素敵な一日でした】

迫桜生の気持ちを届けて・・・！

１１月１４日（木）に，生徒会中心に行われた，台風１９号における被災地への募金活動で集まった募金を，本校と同じ総合学科で，丸森地区にある“伊具高校”へ，届けてきました。詳しい内容については，後日「生徒会たより」にて，生徒のみなさんへ報告があるとのことなので，今回は，簡単に報告いたします。伊具高校がある丸森地区は，現在，電気・ガス・水道等のライフラインについては，復旧しているとのことでした。それから，伊具高校の校長先生から御礼の電話があり，「伊具高校では校舎への被害は無かったけれど，農場が壊滅状態なので，今回の募金は農場関連に使わせていただきます。」ということでした。また，生徒たちが通学で利用している鉄道の“阿武隈急行”の復旧がまだで，生徒たちは代替バス等で登校せざるを得なくて，不便をしているとのことでした。





【和久生徒会長より募金を渡した様子と，壊れたハウスと，ハウスの中のトマトが壊滅状態の様子】



←丸森町役場前の瓦礫置き場は，現在も処理する量よりも，運び込まれる量が多く，山積みになっているようです。寒さが日に日に増しています。私たちは当たり前の日々を過ごしていますが，避難所にいる方々は今日も寒さに耐えているのです。